

社会

➔ 5年生 | 「情報を生かすわたしたち」

CMの秘密を見つけよう！

1. はじめに

現在、私たちの生活には多くの情報があふれている。テレビCMもそのひとつである。

CMは、子どもたちがふだん何となく目にしているものであるが、そこに教師が視点を与えることで、様々な情報が隠されている事実気づかせることができる。

そこで、CMを使った以下のような実践例を紹介していく。なお使用するCMは、教師が録画したものと、過去のCMについては動画サイト (www.youtube.com) を活用する。

2. CMの共通点をさがそう

まずは、現在放映している風邪薬のCMを2つ用意する。今回は大手製薬会社2社のCMを取り上げた。

子どもに「今から2つの薬のCMを見せるので共通点を見つけてノートに書きなさい」という指示を出すと、「女優さんが出ている」「注意書きが出ている」「音(ピンポン)がある」などの共通点が出てくる。そこで、他の会社のCMも同じかどうか投げかける。実は、注意書きと音に関しては、どの薬のCMにも必ず出てくるものである。

なぜ薬のCMがこのような作りになっているのだろうか。その理由は、薬事法という法律が施行した昭和55年以降、こうした取り決めがなされたからである。

法律が施行される前はどうかを動画で確かめると、同じ会社のCMでも、女優が出ていることは今も昔も同じだが、注意書きや音は昔のCMになかったことがわかる。現在のCMには、「法律」という見えない決まりが隠されているのである。

3. CMの違いをさがそう

次に、ゴールデンタイムと深夜に放送しているアニメ番組の2つのCMを取り上げる。

今度は、子どもに2つのCMの違いを見つけてノートに書くように指示する。子どもは最初、内容の違いにしか注意が向かないが、テレビの番組表を見せると、放映時間が違うことに気がつく。

そこで、なぜ放映時間が違うのか考えさせる。すると、主に小学生を対象としたゴールデンタイムと、青年を対象とした深夜とで内容が違うことがわかる。つまり、CMはターゲットの年齢層によって、内容が大きく異なるのである。

4. CMの不思議なところをさがそう

最後に、新番組の子ども向け戦隊ヒーローアニメのCMと、その新番組のおもちゃのCMを取り上げる。なおCMには日付が入っているものがよい。

まず、2つのCMを見て不思議に感じることをノートに書かせる。最初は、どこが不思議なのか、ほとんどの子どもが気づくことができない。そこで、「今度は日付に注意して見てごらん」と投げかけてみる。すると、新番組が2/27放映開始なのに対して、おもちゃは2/23発売であり、放送開始日よりもおもちゃの発売日が早いことがわかる。理由を考えると、こうした番組は、スポンサーであるおもちゃ会社と協力して作成していることが確認できる。

発展として、どんなに人気になっても決してパート2を作らない理由や、番組の途中で新しい仲間や乗り物が登場する理由を考えさせることもできる。そこにはスポンサーとしておもちゃの売り上げを上げるというねらいが隠されているのである。